

第1回

厚真町 二十歳のつどい

新成人の対象年齢が引き下げられたことから
これまでの「成人式」から「二十歳のつどい」へと
名称を変更して、大人の仲間入りをした46人の門出を祝いました。



町教育委員会主催の令和4年度「第1回厚真町二十歳のつどい」が1月8日、総合福祉センター大集会室で開かれ、30人が出席しました。式典では、主催者代表の遠藤教育長が式辞を、宮坂町長と渡部議長が祝辞を述べました。

出席者を代表して秋永珠里さん(富里)が誓いのことばを読み上げ、野呂優花さん(表町)が交通安全宣言。矢倉健瑠さん(上厚

真)に町長から記念品が贈られました。また、吉岡珀和さん(豊丘)が二十歳の主張に立ち、胆振東部地震の経験に触れながら「大人への一歩を踏み出しました。私たちの故郷・厚真町が発展することを心から願い、将来、新成人の模範となるべく精進していくことを誓います」と宣言しました。

式典に続いて行われたアトラクションでは、中学校時代の恩師たちのビデオメッセージも披露され、来場者は笑顔を浮かべながら穏やかな時間を過ごしました。

1月の あつま

第16回あつま国際雪上3本引き大会(同実行委員会主催、池川徹実行委員長)が1月15日、3年ぶりに本郷地区のかしわ公園野球場で行われ、30チームが熱戦を繰り広げました。

1チーム8人が、開始の合図でコートに置かれた3本の綱のうち2本を先に自陣に引き込むと勝利します。厚真発祥の競技で、知力や体力、判断力が問われます。各チームは、入念な練習と作戦を練ってコートに繰り出し、雪にまみれながら全力を尽くしました。

優勝を飾ったのは、平成29年の初優勝から5連覇を果たした苫小牧市の pompa アップ塾苫小牧。表彰式で田口浩生主将は「目標の大会5連覇が達成できました。喜びと共に、目標が達成できたのでチームを解散します」と話し、有終の美を飾った選手に会場から拍手が送られました。



5
連覇

第16回

あつま国際雪上 3本引き大会

3年ぶりの開催は強豪チームが
5連覇で有終の美を飾りました。

